

No	①国提出事業名	②実施計画期間 (R元年度の実施年数)		
6	三浦綾子記念文学館分館建設を核とした文化回遊促進プロジェクト	H30年度～R2年度 (3年度目)		
③全体概要				
<p>本市の代表的な文化施設である「三浦綾子記念文学館」については、全国のファンの募金によって建てられており、民営による地域文化振興・交流の拠点として観光面でも寄与している。この文学館の20周年を記念して、分館の整備や記念事業を行うことで市民や観光客が地域文化に触れる機会を充実させるとともに、新たな魅力として観光客に提供することで、旭山動物園を始めとする他の観光資源のニーズと合わせて回遊性を高め観光客の滞在期間・時間の増加を目指す。</p>				
④市予算事業(令和2年度)				
事業名	概要	主な事業実績	予算額 (うち交付金見込)	実績額 (R3.3実績)
三浦綾子記念文学館分館整備事業	三浦綾子記念文学館が開館20周年を迎えることを記念して実施する分館整備や記念行事等を市が支援するとともに、旭川駅南側約1kmに位置する国道237号線から三浦綾子記念文学館のある外国樹種見本林までの道路について「文学の道」をイメージした整備を実施する。	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人三浦綾子記念文化財団が事業主体となり、三浦綾子記念文学館の分館を外国樹種見本林内に建設し、同分館に三浦家書斎を移設復元。 分館整備事業に対し、旭川市が助成金を交付することにより支援。 		
		<p>【令和元年度】※他事業により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示事業としては、常設展のほか企画展として「没後20年・結婚60年企画展(H31年4月5日～R2年3月29日)」等を実施。 広報営業事業としては、公式サイト及びSNSでの情報発信に加え、新たに多言語による観光客向けパンフレット(合計23,000部)を作成。 収益事業としては、喫茶等の運営のほか、製菓店や酒造メーカーなどとのコラボ新商品の企画(20点)実施。 	<p>【H30年度】</p> <p>20,000 (20,000)</p> <p>【R元年度】</p> <p>0 (0)</p>	<p>【H30年度】</p> <p>20,000 (20,000)</p> <p>【R元年度】</p> <p>0 (0)</p>
		<p>【令和2年度】※他事業により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示事業としては、常設展のほか企画展として「終戦75年企画展 アノ日、空ノ下デ君ハ何ヲ想フ」(R2年4月4日～令和3年5月15日)を実施。 広報営業事業としては、公式サイトやSNSのほか、公式動画配信チャンネルを充実。また、観光向けパンフレットの作成(10,000部)のほか、旅行会社等への営業と企画協力を実施。 収益事業としては、野外喫茶の運営のほか、新商品44点の開発、通販環境の拡充を実施。 	<p>【R2年度】</p> <p>0 (0)</p>	<p>【R2年度】</p> <p>0 (0)</p>
		<p>合計 (うち交付金対象)</p>	<p>20,000 (20,000)</p>	<p>20,000 (20,000)</p>

⑤本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥本事業終了後における実績値		
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	市内観光宿泊延数	857	1,005	千人泊	R3.3	403 (R3.3)	地方創生に効果があった (新型コロナウイルスの影響が大きく、実績値は基準値・目標値ともに下回った。ただ、そのような状況であっても、配信コンテンツの充実や新商品の開発など、三浦綾子記念文学館の魅力作りは進められており、新型コロナウイルス収束後に来館者を呼び寄せる一助として期待できる。
指標②	三浦綾子記念文学館来館者数	15,163	24,000	人	R3.3	7,020 (R3.3)	
指標③							
指標④							
⑦外部有識者からの評価							
事業の評価				外部有識者からの意見			
総合戦略のKPI達成に有効であった				事業の実施により、三浦綾子記念文学館の魅力向上が図られ、宿泊施設が集中する中心市街地に集客する機能が高まった。今後は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要の回復に備え、中心市街地からの観光客の回遊を促すために、既存の常設展示に加え企画展の実施など新規顧客を獲得する取組を一層進めるべき。			
⑧実績値を踏まえた事業の今後について							
今後の方針				今後の方針の理由			
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))				既存の常設展示や各作品等をテーマとした企画展などに加え、分館建設のメイン施設として、市内の三浦氏自宅の書斎を生前の執筆活動における貴重な資料とともに移設復元したことにより、三浦綾子記念文学館全体の魅力を高め、市民の地域文化に対する意識の深化と醸成を図るとともに、全国及び海外の三浦作品のファンをはじめ、文学に興味を持つ観光客等の中心市街地からの回遊を促進して、更なる滞在期間・滞在時間の増加に繋げていく。			